

No. 2-8

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 02 - 8

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与 6		作成日 28年 5月 12日	
事務事業名				オレンジバス運行管理事務			
総合計画上の位置付け	基本施策	1 安全・安心なまち		課名	政策課	係名	政策係
		1-2 住みやすいまちをつくる		シート作成者			
	施策	1-2-2 道路・公共交通網の整備		予算費目	会計	一般	
					款	2	
主要施策	④ 公共交通機関の充実		項		1		
			目		12		
個別計画名							
住民との関わり				公聴会・審議会・委員会への住民参画			
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）				
	住民（交通弱者）		高齢者や通学生等の日常生活の移動手段を確保し、適正な運賃、ルート、運行本数を検討し利用増を図る。				
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成26年9月まで 2つの路線の運行業務を運行事業者に委託 南北線1日15便運行、東部線1日11便運行 運賃100円</li> <li>■平成26年10月から 5つの路線の運行業務を運行事業者に委託 （朝夕便）南北線1日10便、東部線1日6便運行 運賃100円 （昼便）笹尾・城山線1日8便、稲部・三和線1日8便、穴太・中上線1日8便 運賃100円</li> <li>■平成28年10月からルート、ダイヤの変更を行う。</li> <li>■町内の商業施設や鉄道駅で回数券、定期券の販売を委託</li> <li>■地域公共交通会議関係の事務等を行う。</li> </ul>							
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 17年度 ~ 平成 年度（年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
根拠法令・要綱等		道路運送法					
		平成26年度（決算）		平成27年度（決算）		平成28年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B		69,071		66,443		72,182	
財源内訳	国庫支出金	0		0		0	
	県支出金	0		0		0	
	地方債	0		0		0	
	その他特定財源	0		0		0	
	一般財源	65,699		63,071		68,552	
直接事業費（千円）A		65,699		63,071		68,552	
人件費（千円）B		3,372		3,372		3,630	
内訳	一般職員（人・千円）	0.50 人	3,300	0.50 人	3,300	0.55 人	3,630
	臨時職員（人・千円）	0.04 人	72	0.04 人	72	0.00 人	0
成果指標	成果指標名		単位	27年度		28年度	29年度
				目標	実績	（目標）	（目標）
	①	バス利用者数	人	↑	115,612	↑	↑
	②	◆公共交通機関（三岐鉄道、路線バス、コミュニティバス）の利便さについての満足度		%	40.0	29.3	
③							
説明	<p>平成17年度から平成21年度までの5年間は実証運行期間（H17…79,015人、H18…87,315人、H19…96,462人、H20…97,644人、H21…93,157人）平成17年度から5年間の実証運行期間が終了し、平成22年度からは利用の極端に少ない東西線を廃止し、南北線、東部線の2路線で本格運行を開始した。（H22…92,337人、H23…94,366人、H24…93,883人、H25…111,754人、H26…125,713人）平成27年度の利用者数は前年度と比べ10,101人減少 ◆は平成27年度にアンケートを実施した。次回は平成32年度実施予定。</p>						

事業名		オレンジバス運行管理事務			シート作成課		政策課		
一次評価者		政策課長			二次評価者		総務部長		
評価項目の説明	チェック項目				一次	二次	一次の評価又は説明		
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	交通弱者の移動手段を確保することは、住民福祉の向上のために必要であり、日常生活の上で不可欠であると考えます。また今後の高齢化社会の交通手段として必要性がさらに向上すると思われます。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		H26年10月からルート朝夕便と昼便に分け、朝夕便は通勤、通学の利用を基本に鉄道駅へ直行する路線で、昼便は買い物利用や通院を基本に東員駅を中心として町内全域を循環する路線としています。また、10枚綴りの回数券や1ヶ月定期・3ヶ月定期を発行しています。
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。				<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		運賃収入により、運行事業をまかなうことは困難ですが、今後も利用者の増加を図り、採算性の向上を目指します。
<b>本事務事業の実施適切性の説明</b>									
オレンジバスは、日常生活の移動手段として利用いただくように、鉄道駅、スーパー、医療機関、公共施設をルート上に設定しており、高齢化社会にも対応する東員町内の必要不可欠な交通手段として位置付けています。									
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	4	1	3	(8) <u>B</u> 4 8	A		
		休・廃止		見直し	継続	(7) (6) D	(5) (6) C	(8)	
今後の方針	休・廃止								
今後の改革・改善目標	見直し								
今後の改革・改善目標	継続								
今後の改革・改善目標	拡大								
今後の改革・改善目標	平成26年10月から新しいルートとダイヤで運行を開始しましたが、利用者等から様々な意見をいただいております。今後は利用者等の意見を可能な範囲で取り入れ、「公共交通会議」や「生活交通を考える会」に諮り、住民にとって利便性の高い運行を目指し、平成28年10月からルート、ダイヤを変更します。								
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	4	1	3	(8) <u>B</u> 4 8	A		
		休・廃止		見直し	継続	(7) (6) D	(5) (6) C	(8)	
今後の方針	休・廃止								
今後の方針	見直し								
今後の方針	継続								
今後の方針	拡大								
コメント	町民の移動手段を確保するため継続は必要と考えます。 財政面など限られた範囲で、東員町全域の公平な利用や将来を見据えた運行形態を目指します。								
二次評価に対する課の考え方									
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1 現在の手段を継続する					